(1,1) -1-2 特_6_7面Weekly_AJ.indd 12/01/05 14:16

2012年を飛躍の年に

新春座談会

人と地域社会を繋ぐ場に

2011年は1000年に1度と言われる大震災に見舞われた。震災後、ホール業界はいわれのないバッシングも受けた。広告・宣伝規制の運用方針見直しなどの対応にも追われた。苦難の2011年を乗り越えてきたホール業界。2012年の辰年を迎えるに当たって、節目の年を迎えるホール企業のトップが集まり、企業を辰のように飛躍させるために、どのような経営方針で臨むのかを語り合った。月刊『Amusement Japan』コラム連載中のナムコの池澤守氏、「早妻系男子」などの貴重な世に広めたマーケティングライターの牛窪恵氏が座談会の司会を務めた（文中敬称略）。

震災でホールの役割が分かった

池澤 本日は集まいただいたホール経営者の皆様に、自己紹介をお願いします。

山本 今年で創業60周年を迎える山本ビルの代表取締役を務めています。北海道旭川市でアルファの国営でも店舗を経営しています。1984年の入社当時から、ホールスタッフの接客に力を注いできました。

力武 創業30周年になる大分セントラルの代表取締役を務めています。大分県内でセントラルパークの運営をしています。ホール営業の店名でホール6店舗を経営しています。ホール営業と地域貢献を通じて地域社会に深く根付いたネットワークの構築を目指しています。

志賀 創業60周年になる志賀産業の代表取締役を務めています。産業の中心は、ホール、カラオケ、ボウリング場、カラオケ・飲食店、保育園の経営も手掛けていますが、ちゃんと故郷問題にも取り組んでいきました。

趙 創業50周年を迎える三慶商事の代表取締役を務めています。埼玉県内で「アリーナ」の店名でホール6店舗を経営しています。ホール営業と地域貢献を通じて地域社会に深く根付いたネットワークの構築を目指しています。

志賀 創業60周年になる志賀産業の代表取締役を務めています。産業の中心は、ホール、カラオケ、ボウリング場、カラオケ・飲食店、保育園の経営も手掛けていますが、ちゃんと故郷問題にも取り組んでいきました。

趙 創業50周年を迎える三慶商事の代表取締役を務めています。埼玉県内で「アリーナ」の店名でホール6店舗を経営しています。ホール営業と地域貢献を通じて地域社会に深く根付いたネットワークの構築を目指しています。

山本 深い恩とあに包まれた年でした。改めて被災された皆様へお見舞を申し上げるとともに、一日も早い復興を心より願っております。震災の影響に伴う電力不足で、ホール業界に対するいわれのないバッシングがありました。私は旭川市内の商工会議所の観光部会の会長を務めていますが、震災後、旭川市内の観光客が大幅に減少しました。しかしそんな中でも、震災後、お客様の数は微増しました。弊社の場合、震災後、お客様の数は微増しました。しかしそんな中でも、震災後、いまだに、どうやら旭川の震災関連の報道や慰霊会を外部の人が来ていたのだと思います。震災後、お客様の数は微増しました。しかしそんな中でも、震災後、いまだに、どうやら旭川の震災関連の報道や慰霊会を外部の人が来ていたのだと思います。

趙 弊社が経営するホールも店内のあちこちで破損箇所があり、ましたが、実際を目の当たりにしました。

志賀 震災後、お客様の中には、ホールを第一の家のように思っている方がいらっしゃいました。弊社のホールは、ホールでお客様がくつろぎ、ホールでお客様が集まってきました。

力武 私が経営する店舗は、ホールとして、せっかく来ていただいた皆様に一体何ができるのかと、ホールでできることを考えました。

池澤 昨年は東日本大震災がありました。どのような変化、影響があった年でしたか。

山本 深い恩とあに包まれた年でした。改めて被災された皆様へお見舞を申し上げるとともに、一日も早い復興を心より願っております。震災の影響に伴う電力不足で、ホール業界に対するいわれのないバッシングがありました。私は旭川市内の商工会議所の観光部会の会長を務めていますが、震災後、旭川市内の観光客が大幅に減少しました。しかしそんな中でも、震災後、お客様の数は微増しました。弊社の場合、